

道づくりだより

第43号

2011.9 島根県道づくり調整会議



境水道大橋(国道431号)

Contents

1. 臨港道路に冠水注意喚起施設を整備しました (港湾空港課)
2. 都市計画道路『北荒木赤塚線』の事業紹介 (出雲市まちづくり推進課)
3. 国道431号境水道大橋耐震補強工事 (道路維持課)
4. 高速道路の整備の様子
: 仁摩・温泉津道路、松江自動車道 (高速道路推進課)



臨港道路に冠水注意喚起施設を整備しました

集中豪雨の際には、ご注意ください

平成20年8月に栃木県鹿沼市で、同年9月に広島県広島市で、集中豪雨により道路アンダーパス部が冠水し、車両が水没するという事故が相次いで起こりました。

島根県内においても、集中豪雨により冠水する恐れのある道路は多くあり、各管理者で注意喚起看板や冠水深表示等の整備を順次しています。

県が管理している港湾の臨港道路についても整備を終えたところです。今回は、平成22年度に注意喚起施設を整備した松江港と浜田港の臨港道路について、ご紹介します。

★ 松江港 ～新大橋南詰臨港道路～

(概要)

現在、大橋川南側沿い、新大橋を挟む緑地(松江市伊勢宮町～和多見町)や遊覧船の発着場として、利用されています松江港。この場所に隣接して整備されているのが、新大橋南詰臨港道路で県道松江島根線をくぐった構造となっています。

松江港は昭和初期に築港され、その時に当道路も、建設されました。当時、港完成の際には、境港を起点とする隠岐航路が松江港まで延長され、隠岐丸が入港するなどしておりました。



～ 現地には、連絡先や冠水深の表示がしてあります ～



アンダーパスとは…?

道路や鉄道と立体的に交差しており、周辺の地面より低くなっている道路です。降雨時には、雨水が集まりやすくなっていますが、ポンプ設備により排水処理をしています。

しかしながら、近年多発する短時間に集中的に雨が降った場合、排水が追いつかず、道路が冠水してしまうことがあります。



★ 浜田港 ～周布鰐石（すふわにいし）臨港道路～

（概要）

浜田市を流れる周布川河口部に位置する浜田港鰐石地区と国道9号を結ぶ延長700mの道路です。平成7年度に完成し、原木や木材製品等の輸送、また地域の生活道路としても利用の多い道路です。（『道づくりだより（第28号）4. 浜田港の臨港道路』で詳しくご紹介していますのでご覧ください。）

この臨港道路の途中には、JR山陰本線をくぐっている箇所があり、集中豪雨の際には冠水の恐れがありますので、通行にはご注意ください。



激しい降雨の際には、見えづらかった。



電光式のため、視認しやすくなりました。

□ ドライバーのみなさまへ

★集中豪雨により、アンダーパス部分が冠水している際には、危険ですので決して進入していかないでください。

★臨港道路の冠水やその他、お気づきの際には、県土整備事務所までご連絡ください。

（今回、ご紹介している臨港道路）

- ・ 松江港臨港道路・・・松江県土整備事務所 維持管理部 管理第二グループ
TEL (0852)32-5694
- ・ 浜田港臨港道路・・・浜田県土整備事務所 浜田港湾管理所
TEL (0855)27-0088

※なお、国道など他管理者の道路においても、同様に注意喚起施設が整備されております。何かお気づきの際には、各管理者へご連絡下さい。

臨港道路とは・・・港湾施設間の連絡及び港湾周辺の一般主要幹線とを結ぶ道路です。

国道、県道、市町村道は「道路法」に基づく道路です。

臨港道路は「港湾法」に基づく道路です。

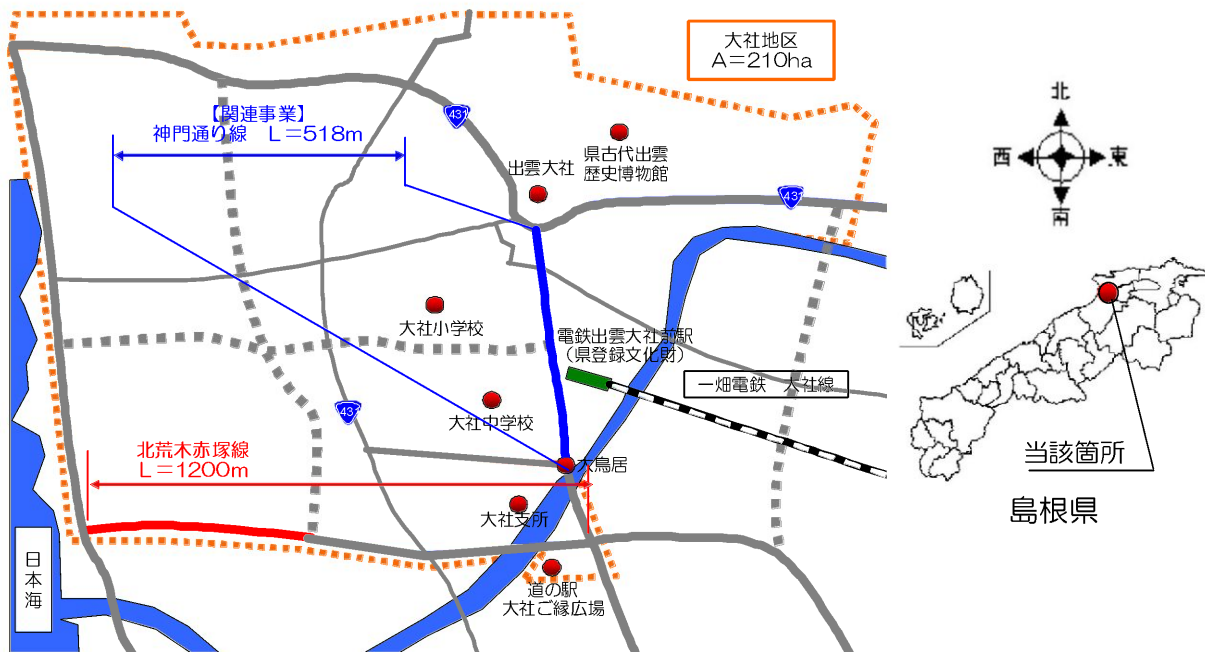
道路法に基づかない道路は、他にも農道や林道などがあります。

きたあらかきあつかせん 都市計画道路「北荒木赤塚線」の事業紹介

神門通りに集中する通過交通量の分散を図り、環状迂回型道路ネットワークを構築することを目的として整備が進められている「都市計画道路 北荒木赤塚線」は、道の駅 大社ご縁広場前交差点から西へ、日本の渚 百選にも選ばれている稲佐の浜に並行して走る大社日御碕線までの区間、1,200mの道路です。

この道路は、昨年度から第二期整備区間である約460mの整備に着手し、平成25年に
出雲大社の正遷宮をまじかに控える中、平成24年度末の完成を目指しています。

本路線の整備に加え、参詣道である神門通りの整備、そして出雲大社周辺地区における市道の美装化も併せて事業が進められており、来年度末には、数多くの文化遺産とともに歴史的街なみを散策できる歩行者ネットワークも姿を現すこととなります。



北荒木赤塚線 始点



ご縁橋



ご縁橋から西を望む



ご縁橋から大鳥居を望む



第二期整備区間



歴史散策の道



【事業概要】

事業主体 出雲市

事業内容 街路(現道拡幅)

事業箇所 島根県出雲市大社町杵築西

計画延長 1,200m

計画幅員 16m(車線数 2)

第二期整備区間



北荒木赤塚線 終点



国道431号 境水道大橋 耐震補強工事



【事業概要】

国道431号は島根県出雲市から松江市、鳥取県境港市を經由して米子市に至る93.5kmの島根半島を縦断する一般国道で、境水道大橋は島根県側の松江市美保関町と鳥取県側の境港市に架かる橋長L=709.3mの橋梁です。

この事業は、両県で進めている境水道大橋の耐震化・長寿命化に基づき実施しており、島根県側の橋台補修・橋脚耐震補強工事については、今年度島根県が発注し実施します。なお、鳥取県が発注し実施する工事を含め、事業完了はH25年度を予定しています。



【工事概要】

工 事 名：国道431号 境水道大橋 国庫交付金道路（耐震補強）工事

施工位置：島根県松江市美保関町森山地内

工事期間：H23年度～H24年度

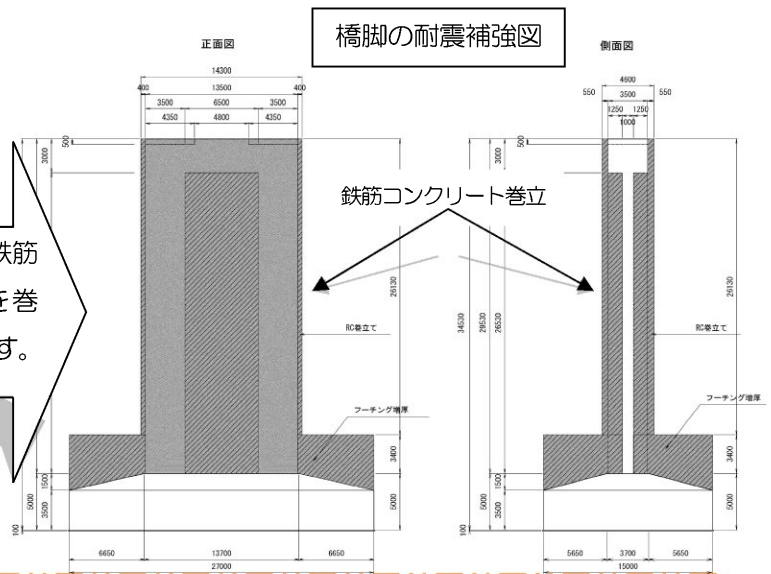
工事内容：橋脚耐震補強 N=1基 鉄筋コンクリート巻立工 V=2,388m³

橋台補修 N=1基 ひび割れ注入工 L=5m



現在の橋脚に、鉄筋コンクリートを巻立て、補強します。

耐震補強を実施する橋脚



☆橋梁の耐震補強について

橋梁の耐震補強については、平成7年の兵庫南部地震等での橋梁の被災状況（橋脚の倒壊、橋桁の落下等）を踏まえ、橋脚に鉄筋コンクリートや鋼板等を巻立てて補強したり、橋桁どうしを連結させて落橋を防止するなどの対策を行っています。

9/5 インター予定箇所の様子(仁摩・温泉津道路)



(1)仁摩 IC(仮称)の様子



(2)湯里 IC(仮称)の様子



(3)福光 IC(仮称)近くの福波第2高架橋(仮称)

山陰道「仁摩・温泉津道路」は、大田市仁摩町と大田市温泉津町(L=11.8km)を結ぶ高速道路として、国土交通省松江国道事務所により事業が実施されています。

湯里 IC(仮称)～福光 IC(仮称)が平成25年度に、仁摩 IC(仮称)～湯里 IC(仮称)が平成26年度に開通予定となっており、それぞれのインターチェンジの設置予定箇所

では、道路土工やランプ部の橋梁などの工事が進捗しています。少しずつインターチェンジらしい形が見えてきており、3～4年後にはここから高速道路に乗れるようになってきていると思うと、ワクワク期待が高まりますね。



9/12 中国道との交差点(松江自動車道)



三次ジャンクション(仮称)の様子



松江自動車道は、山陰自動車道の宍道 JCT と中国縦貫自動車道の三次 JCT(仮称)(L=71.6km)を結ぶ高速道路として、国土交通省松江国道事務所及び三次河川国道事務所により事業が実施されており、平成24年度に全線が開通する予定となっています。

今日は中国道とのジャンクション部を施工するネクスコ西日本さんの計らいで、現場を見せていただくことができました。既に橋梁やボックスカルバートなどの主立った構造物の施工はほとんど終了し、今はジャンクション付近の約50万m³にも及ぶ切盛土工を施工中であるということでした。

松江道が開通すれば、松江から広島までの所要時間は約50分も短縮され、約2時間50分になるとされています。松江や出雲から広島方面へのアクセスは飛躍的に改善されますから、開通が今からとても楽しみです。